日野市保育の質ガイドライン（第２版）新規事例一覧　　【資料2】

※概要は、簡潔に記載してください。

章	項　　目	内　　容	園　　名	具体的なタイトルと内容概要
記載例） 健康・安全	食育	食べる喜びが感じられるよう、楽しい食事の雰囲気をつくり、子どもの気持ちに寄り添った食事指導をしていますか。	みらいく保育園	**■タイトル** 「"いただきます"が楽しみになる食育」 **■概要** 給食に使われている野菜や魚、果物などの現物を給食前に見せて、名前当てクイズを行ったり、その野菜がどんなふうに育つのか、どこから届いたのかを説明する取り組みをおこない、食材への興味を持ち、食べる意欲にもつなげています。 **※各園の取組については、出来るだけ一般的な取り組みではなく、真似してみたい、参考にしたいと思える取り組みをお願いします。**
	0歳児	安全で安定した環境を用意し、子どもの気持ちに共感することを心がけていますか。	ピノキオ幼児舎富士ライフ豊田園	■タイトル 「『これなあに？』があふれる壁」 ■概要 保育室の子ども達が遊ぶスペースの壁にマグネットシートを貼りつけました。 子ども達が興味を示す物・色・形など簡単なものを貼りつけて遊ぶあそびから始め、マグネットシートをパネルシアターのように使い、絵本のお話を繰り広げて楽しんでいます。 また、パネルシアターを行ったお話については子ども達が自ら手に取れる場所に絵本を用意し自由に見れる環境もつくり楽しめるようにしています。
			わらべ豊田駅南口保育園	■タイトル 「 やってみたいを支える遊びの環境」 ■概要 ・部屋のサークルから出たい、登りたいという気持ち、行動について、方法が違うことを自分の力でやってみる事に対し、行動を注意するのではなく子どもの姿を丁寧に観察し、どこに手や足をかけるか、何に興味を示すかするかを見守り、危険な場面を予測しながら、直ぐに体勢が立て直せる様にしてみました。
		家庭では出来ないような五感を刺激する遊びを保障していますか。	金子ベビーホーム	■タイトル 「わくわく・どきどき・発見！」 ■概要 0歳児にとって、日々目にするもの、触れるもの、全てが不思議と驚きの連続だと思いますが、ご家庭では出来ないような五感を刺激するものとしては、ヒノキのたまごのプールがあります。ヒノキの香りや、つるつるに磨かれた表面の触感、触れ合う音、その中に体ごと埋もれる感覚などを味わうことは特別な体験かと思います。他にもセンサリーボトルやジップロックに入れた色水、サンキャッチャー、シルクの虹色大判スカーフなど触覚と視覚、嗅覚などを刺激する玩具をそろえて、感覚遊びを安全に楽しむ環境を準備しています。
	1歳以上3歳児未満	五感を使った遊びを保障していますか。	第三暁愛児園	■タイトル 「真似してみよう」 ■概要 月一度0～5歳児が参加してリズム遊びを行っています。先生の動きを真似して、見て・聞いて・動いて、全身を使って「楽しい」「やってみたい」という気持ちを育み、安心できる環境の中で感覚や、身体の発達に繋げています。
		感性や創造性を高めるよう、季節の自然物や生き物等に触れる機会を設けていますか。	えいせい会保育園	■タイトル 「四季を感じる自然探索」 ■概要 園周辺の自然に恵まれた環境の中、近くの公園に出掛け、四季折々の自然物や生き物に触れ、感触・音・匂いなどを楽しむ探索遊びを行っています。子どもたちと一緒に木の実や虫探しを行い、実際に見たり触れたり匂いを感じる体験をすることに重きを置き、時にはシャーレに虫を入れてじっくり観察し、「何かな？」と疑問を持った時には図鑑で調べたりして、実体験や新たな発見を楽しめるように取り組んでいます。

	身近な物を取り入れ、多様な遊びの工夫をしていますか。	第二暁愛児園	■タイトル 「身近な物を使った制作と遊び」 ■概要 身近な物に目や手が届き、見る・触る感覚を楽しみ始めた子共達。そんな子共達に、見る・触るから作るに移行し作る楽しみ・遊びを楽しむ姿に繋げて行った。
3歳以上児	じっくり取り組んだり、落ち着いて遊んだりできるよう、子どもの実態を踏まえたおもちゃを用意する等、物的環境の工夫をしていますか。	百草台幼稚園	■タイトル■ 「夢中で遊べる魔法のオモチャ」 ■概要■ ３歳児は物の取り合いによるトラブルが多いため、なるべく人気のあるオモチャは多めに準備できるよう手作りにする。例えば、段ボールを切り開いて街の地図を作り、そこを牛乳パックで作った電車や車を走らせる。４歳になると友だちと一つの遊びを共有できる。一緒に一つの物を作って遊べるブロックで動物園作りなど。５歳児は工夫して遊ぶ事ができるため、様々な廃材をたくさん設定し、自由な中でも自分の表現が出せるようにしている。全学年に言える事は、広々とした自然の中で伸び伸び遊べる事が一番の魔法だと思っています。
	仲間意識が育まれ、ルールを守ることの大切さや相手の気持ちに気付けるよう、集団での遊びも適宜取り入れていますか。	日野台幼稚園	■タイトル 視覚的工夫と受容で広がる「こおりおに」 ■概要 年中になると例年「こおりおに」をしている。クラス活動として取り入れてから自由遊びでこどもたちが楽しむ過程を事例にする。ゲーム中にルールから外れてしまうときや友だちと思いがすれ違うときなどに、保育者の関わりや配慮を通してこどもたちがどう変化してきたのかを振り返り考察していく。
３歳以上児	子どもと相談しながら、ゲームのルールを作る等、子どもの想いや発想を取り入れながら活動をしていますか。	欣浄寺みのり幼稚園	■タイトル 「子どもたちが遊びを楽しみながら自発的にルールをつくる　5歳6月」 ■概要 遊びのルールを子どもたちに確認しながら、「他にどんなルールを作ったらこの遊びがもっと楽しくなるかな？」、「どこを変えたらもっと面白くなるかな？」等の話し合いを行い、子どもたちの自由な発想を引き出す。
	達成感・充実感が味わえる活動、日々の遊びを披露する発表等、活動の過程を取り入れながら活動を展開していますか。	日野ふたば幼稚園	■タイトル 「もう自分たちだけで川が作れるよ！」 ■概要 砂場遊びが好きで山や川を作るのが大好きだけれど、池みたいな丸い水たまりしか作れなかった年中組さん。なかなかうまくいかなかったけれど、年長児が遊びに参加してくれたことで川を作る体験ができ大喜びでした。　そのタイミングで雨どいを砂遊びの遊び道具に加えてみると、子どもたちが「スライダー」と呼ぶ 水流を感じる川を自分たちだけで作ることができ達成感を感じていました。その川を年長児に発表し、一緒に遊ぶ事でさらに川がつながり「街になったね！」
	水や電気を大切う使うこと、ゴミの分別、畑づくり等、遊びや生活を通して身の回りに環境について学ぶ機会を設けていますか。	光塩日野幼稚園	■タイトル 『まわりの環境や自然に気付く体験』 ■概要 日々の生活の中で水や電気・ゴミの存在を知らせ、身近に感じながら大切にできるよう声掛けしていく。畑の水やり・雑草抜きを通して、野菜作り・収穫をし、食育に繋げる。身の回りの環境に関して、興味関心を持てるようにする。

保育内容	配慮が必要なこども	落ち着いて過ごせることで、その子の自信が高まるよう、遊具の提示等、物的環境を整えたり、その子の発達に則したコミュニケーションを取ったりしていますか。	日野・多摩平幼稚園	■タイトル 「いちばん困っているのは僕（私）だよ」 ■概要 思い通りに事が進まないと癇癪を起こしてしまう子に対しては、むしゃくしゃした気持ちに共感しつつクールダウンするまで側で見守る。その際、保育室の隅を本児しか入れない空間に設定する。気持ちが落ち着いてきたら、自力で気持ちを落ち着かせたことに対して心から感心し、肯定の言葉かけをする。また、癇癪を起こしてからクールダウン完了までに要する時間は少しずつ短くなっていくので、それを本児が実感できるよう、視覚教材（時間の長さがわかるもの）を使用して成長の喜びを共有する。
		子どもの理解を深め、支援策を職員間で共有し、一貫した対応を心がけていますか。	日野ひかり幼稚園	■タイトル 「配慮が必要な子どもへの対応の共有」 ■概要 全職員が同じ視点で関わることで、配慮が必要な子どもが戸惑いなく安定した園生活を送ることができる。同じ視線を持つためには情報の共有が大切である。
		食物アレルギー児に対しては、安全に十分配慮したうえで代替食を提供他、本人だけでなく、周りの子もアレルギーに関する理解が深められるようにしていますか。	京王キッズプラッツ高幡	■タイトル 「孤食にならないアレルギー食」 ■概要 卵を使用した食事が、年間通して1度も出ない献立にしている。 主に和食を中心とした献立にし、おやつもすべて手作りのものでおやつも一切卵を使用しないメニュー。 食器の色分け、他児と分けた食事スペース、職員の介助用エプロンの色を変えるという基本を守り、保育者がアレルギー除去食の献立表をまず読み上げ、栄養士と確認した上でアレルギー児の食事を手渡ししている。 アレルギー児の除去食は他児の通常食よりも先に配膳 家庭からの食事持参対応の場合には、なるべく通常食の献立と似合った物を持参していただき、他児がアレルギー児の食事に対してあまり疑問を持たないよう、食事に差が出ないようにし、孤立しない食事環境を作っている。
	物的環境	子どもの動きに合った遊具を用意する、互いに危険のない環境を工夫する等、安全に配慮していますか。また、月・期ごと等、定期的に保育環境を見直していますか。	杉野幼稚園	■タイトル 「レッツ　チャレンジ」 ■概要 サーキット遊びをやってみよう！年齢や発達に合った大きさ、高さ、難易度の遊具を選んで2コース設定する。飛びつき（高低）・マット(前転・お芋ごろごろ）・平均台（高低）・はしご・鉄棒（ぶら下がり・前回り）遊具の配置や動線を工夫して、子ども同士が交差しないように配慮する。子ども自身にコースを選ばせ、自分でチャレンジするように促す。子どもの動きを見て、合っているかを把握、声掛けによる促し。期毎にカリキュラムの話し合いをし、園庭、クラスの環境設定を見直し、コーナー構成や遊具の入れ替えを行う
		子どもの実態や興味関心に合った絵本や歌、遊具等を適宜取り入れていますか。	日野しらゆり幼稚園	■タイトル 「やってみたい」から広がる遊びの環境作り ■概要 子どもの日常のつぶやきや実体験、「やってみたい」という気持ちを大切にし、保育者が子どもの興味や発想に合わせて環境を構成している点で共通している。遊び方を決めて与えるのではなく、実物や様々な素材を取り入れることで、子ども自身が考え、試し、気づきを深めながら遊びを展開している。また、遊びの中で試行錯誤を重ねる中で、一人の遊びが友達との共同活動へと広がる姿も見られ、環境の工夫が主体的な探究活動へとつながっている。
			さわらび保育園	■タイトル 「室内でも体を存分に動かす環境」 ■概要 縦割り保育が中心になるワンフロアの保育室で、遊具を置きコーナーを作りクラスでの遊びを存分に楽しみます。

	それぞれの遊びの実態を把握し、何が必要かを考えて明日の保育に活かしていますか。	日野わかくさ幼稚園	■タイトル 「個の保障から生まれる繋がり」 ■概要 子ども達がやりたい遊びを把握し、それぞれが安心して遊びこめるよう、環境整備や気持ちを汲むことを心がける。
	子どもの表現やイメージが広がるよう、作品や製作過程の画像、子どもの活動の足跡が見合える環境を整えていますか。	第二幼稚園	■タイトル「 「明日もやりたい！遊びが広がる環境作り　５歳児」 ■概要 ごっこ遊びのイメージが広がるよう材料や用具を準備したり、次の日も遊びが継続できるよう子供が作ったものが目に入るような環境構成をしています。
		西都ヤクルト販売（株） 高幡保育室	■タイトル 「『やってみたい！』から広がるごっこあそび」 ■概要 　子どもの背丈の手作り板に、指先を使って好奇心が出る手作り遊びで、できたを喜び合う環境作り
人的環境	常に遊びを見守るだけでなく、子どもと一緒に楽しく遊ぶ。また、遊びの状態を見極めて参加したり、抜けたりしていますか。	第七幼稚園	■タイトル 「仲間になったり見守ったり」 ■概要 遊びで仲間との関わりを築いたり、遊びを展開したりしていくために、先生は仲間として遊びに加わります。その中で、友達間の思いの橋渡しをしたり、イメージに合った遊びのアイデアを出したりなどの働きかけをしていきます。仲間の一員として関わりながら、遊びがより楽しくなるように支援していきます。
		多摩平たから保育園	■タイトル 「『やってみたい』は安心から」 ■概要 職員も子どもと一緒に遊びを楽しみながら、『今は見ていたいな』『ちょっと甘えたいな』『やってみようかな』など、その時々の気持ちに寄り添っています。遊びに入りたいけど入れない時や『ぐで〜』と甘えたい時には、無理に動かそうとせず、安心できる関わりを通して気持ちの切り替えを支えています。子どもが自分から[やりたい]と動き出せる空気づくりを大切にしています。
	温かく穏やかな雰囲気で子どもに接する。話す時は、分かりやすく、子どもが興味を持てるような話し方を心がけていますか。	訪問・在宅保育 Lotta Smile	未提出
		学びの森　保育園 プチ・クレイシュ	未提出
		日野・多摩平幼稚園	■タイトル 「１秒間に4文字」 ■概要 職員は立ったままではなく、膝をついたり、しゃがんだりして子供の目線になるよう心がけている。 また本児が言い出しにくいことを聞く時には、あえて目を合わせず、膝の上に乗せて安心感を持たせてから話を聞くようにしている。話しかける際はこちらが望む言葉を言わせようとするのではなく、子供の気持ちを聞き出せるよう、ゆったりとした気持ちで寄り添う。１分間に約150〜240文字になるよう、話すスピードを年齢に合わせて調整したり、話す内容によってはスピードのアップダウンを変えたりしている。 子供が集中しなくては聞き取れないような言葉は使わ

	小学校への接続	子どもが安心感・期待感を持てるような小学校や学童との交流活動等を実施していますか。	第二幼稚園	■タイトル 「互恵性のある小学校との交流を目指して」 ■概要 小学校の先生と児童・園児の実態を共有し、交流の活動内容を検討、実施しています。交流前にそれぞれが活動内容を経験しておき、安心して活動を楽しめるようにしています。
	帳簿の書き方の工夫	保育計画を作成し、見通しを持って活動を実施した後に、PDCAサイクルに基づいて振り返っていますか。	暁愛児園	■タイトル 「親子遠足の新規計画・ふり返り記録の改善」 ■概要 実践では保育計画を元に子どもの姿を見通し活動を進める。子どもの成長を具体的に整理しPDCAに基づき次の保育に活かす記録を残す。振り返りでは、ねらいが達成できたか、改善点や課題も明確にし質の高い保育実践へとつないでいる
		それぞれの遊びの実態を把握し、何が必要かを考えて明日の保育に活かしていますか。	ぽかぽか保育園 豊田	提出待ち
		5領域（健康・人間関係・環境・表現・言葉）に基づいて保育を組み立てていますか。また、10の姿も視点として活用しながら保育を具体的に振り返っていますか。	ぽかぽか保育園 多摩平	提出待ち
			第七幼稚園	■タイトル 「指導の振り返りに基づいた指導計画の作成」 ■概要 指導案作成では、RPDCAサイクルを大切にしているが、具体的な事例「ごっこ遊び」を取り上げ、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の視点を通して、子供たちが遊びながら何を経験し何を学んでいたのか、また、教師の援助や環境構成はどのように改善していくといいのか具体的に評価できるようにしている。
子育て支援	保護者支援	登降園時での会話や連絡帳等、日々のコミュニケーションや行事を通じて、子どもの状況について綿密に連絡を取り合っていますか。	野外保育 まめのめ	■タイトル 「保護者同士が育ちあう仲間に」 ■概要 共同保育のようなスタイルで立ち上がった保育の場です。子どもだけでなく保護者こそ、安心の輪の中で本音で語り合える仲間になるための関係づくりを大切にしています。そのため少人数で「今、子育てする中で気になっていること」や子育てのことだけでなく「自分のこと」「夫(妻）との関係」などについて、じっくり話す場を設けています。今の気持ちを仲間に聴いてもらうこと、さらにひとりひとりの違いを認め合いながら対話をする時間を年に2回設けています。保育者はアドバイスをするのではなく、あくまでもファシリテーターとして同席します。 また、スタッフと保護者が共に子どもを真ん中に考える場を学期に1回設けています。大人の都合ではなく、子どもの立場になって考え、子どもの世界を感じる時間としています。 子育ては決してひとりではできません。これからも、人とのつながりの中で助け合いながら子育てしていける仲間づくりを応援していきます。
			わらべ豊田駅南口保育園	■タイトル 「保護者との関係性を高める」 ■概要 保護者が安心して子どもを預けられるように、日々の会話でのコミュニケーション作りや連絡帳を通しての家庭との目線合わせなどを心がけることで、信頼関係の構築になっていっている。

健康・安全	食育	安全・安心を第1に、素材を生かした給食を提供し、健全な食生活を身に着けられるようにしていますか。	第四暁愛児園	■タイトル 「食材や命への感謝を育む　3.4.5歳児」 ■概要 夏野菜（なす・ピーマン等）の栽培に取り組み、収穫体験をしています。調理師が実際にその野菜を使って子どもの前で調理をします。初めは生の感触や香りを感じ、熱を加えて食中毒対策を行ないつつ野菜本来の味を味わいます。野菜を育てる大変さを知ったり、食に関しての興味関心を持ち、苦手野菜を食べてみようとする意欲につなげています
	健康・安全	自分の園に合った事故防止策・防犯対策を全職員で検討し、安全な環境を整えていますか。	日野しらゆり幼稚園	■タイトル 「子どもとともに考える防災教育 」 ■概要 本園では、安全な環境づくりを教職員だけで行うのではなく、子ども自身が「自分で自分の身を守る力」を身につけることを大切にしている。毎月の避難訓練では、地震・火災・水害・不審者対応など様々な場面を想定し、訓練後には職員間で振り返りを行い、避難方法や課題について共有している。また、子どもたちにも年齢に応じて防災について考える機会を設け、自分の命を守る行動について日常的に学んでいる。園内では、地震発生時に比較的安全と考えられる場所の天井にピカチュウのマークを設置し、「困ったときはピカチュウの近くへ行く」という視覚的に分かりやすい目印として活用している。
		職員の健康状態を園長が把握し、園全体で職員の健康管理を行っていますか。	杉野幼稚園	■タイトル 「身体も心も元気な先生」 ■概要 年1回の健康診断結果を園長が確認・把握。感染症対策として予防接種を受ける。ストレスチェックを実施し、高ストレスと診断された職員の面接指導の実施。
職員の資質向上	研修	安全管理に関する研修を踏まえ、座学の知識を実践に活かしていますか。	kids Garden保育室	■タイトル 「ヒヤリハットで気付きを共有、安全を育む」 ■概要 多くのヒヤリハットを挙げ、各自回覧で目を通すのはもちろんのこと、ミーティングでも話し合う
			日野ひかり幼稚園	未提出
		研修の内容を園全体で共有したり、グループワークを行ったりして、自身の保育の課題や不足している知識・技術に気付く機会を設けていますか。	日野わかくさ幼稚園	■タイトル 「保育の質を上げるために」 ■概要 改めて一人一人の職員が子どもをどのように育てていき、どのような保育をしたいか意見交換をし「子ども主体」とは何かという点から考えを深めたり、子どものやっている事・子どもの声に耳を傾けていこうという事になった。ただやりたいことを自分勝手にやるのではない「自由保育」のやり方を職員で模索して取り組んでいる。

	園の運営に関して	会議やイベント等のほか、日常から話し合い、理解し合える体制を園全体で設けていますか。	光塩日野幼稚園	■タイトル 『教職員全体の共通理解・相互理解に向けて』 ■概要 フルタイム・パートタイムと異なる働き方をしている教職員全員の共通理解が保たれるよう、すすんでコミュニケーションを取れるような環境作りをしている。園児・園行事など、職員会議や議事録を通して情報共有をしている。年に数回会食の機会を設け、全教職員が交流できる機会を設けている。
その他（保育者としての専門的見識の理解）	保育者としての責任感	保育者としての責任感を持ち、子どもの人権・人格を尊重した保育を実践していますか。	百草台幼稚園	■タイトル 「子どもの笑顔と笑い声がいっぱいの幼稚園を目指して」 ■概要 1人1人の持つ子どもの特性を理解し、安心して過ごせる場所、安心して頼れる保育者を目指している。また保育者の思いを全面的に押し付けるのではなく、子どもたちから発信してくる思いや活動への意欲を大切に保育している。
	保育方法の理解	保育の方法を理解し、一人一人に寄り添った保育の大切さを実感していますか。	日野台幼稚園	■タイトル 「手押しポンプを使った砂場の遊びの援助」 ■概要 手押しポンプを使っての砂場の自由遊びをする前に教師会でどのように環境設定するか、導入するかを考えてから保育していった事を事例にし、具体的な一人一人のこどもにむけての配慮点と実際の子どもの姿を考察していく
			おうち保育ルーム Smile Mommy	■タイトル 「少人数で深く寄り添う子どもの心とリズム」 ■概要 少人数一時預かりだからこそ実現できる、集団の枠を離れて、子どものペースや生体リズム、今夢中にやりたい思いに同調し、短い時間でも子どもの深い安心感と主体性を育む家庭的保育の事例を伝えます。
	保育者としての有能感	長く仕事を続けられるような職場環境を作り、職員一人ひとりが楽しみ、有能感を持って仕事を続けていますか。	欣浄寺みのり幼稚園	■タイトル 「保育者としての自覚を持ちながら、責任感と共に楽しさを感じる」 ■概要 一人ひとりが保育者としての自覚を持って仕事に取り組み、職員全員が互いにその思いを理解・共有することで、職場の一体感を作っている。そのような職場環境を作ることで、一人ひとりが楽しみながら自信を持って職務にあたっている。
	地域への親しみ	豊かな自然や心豊かな地域の人々等、身近な環境の価値を見直し、子どもと新しい発見を重ねていますか。	わいわいほーむ ひのみらい	■タイトル 「日常の中で地域の環境に親しむ保育」 ■概要 わいわいほーむひのみらいでは、夕方の預かり保育を中心とした落ち着いた環境の中で、地域とのつながりを大切にしています。送迎時の地域の方との挨拶や、窓から見える景色、地域から聞こえるお祭りの音、季節の変化など、日常の中にある地域との関わりを子どもたちと共有しています。また、日野市の多摩川や浅川、近隣の地域行事などの話題を取り入れながら、子どもたちが自分の暮らす地域に親しみや安心感を持てるよう関わっています。保育者は、子どもの小さな気付きや言葉を丁寧に受け止め、一緒に発見を重ねることを大切にしています。

	他者との連携	子どもや仲間と共に保育を楽しみ、共に成長していますか。	日野ふたば幼稚園	■タイトル 「子ども達の楽しみ、喜びがみんなに広がる野菜栽培と食育」 ■概要 園庭やふたば農園で野菜の栽培を行っています。栽培を通じ、子ども、保育者、保護者、地域の農家の方と野菜の収穫を喜び合ったり、製作活動にも取り組んでいます。その都度収穫したものを子どもたちと一緒に食べ、美味しさを共有しています。